

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第141号	氏名	陳 俊全
学位審査委員	主 査 平 山 謙 二 副 査 関 根 一 郎 副 査 兼 松 隆 之		
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価			
<p>本研究は、炎症性腸疾患（IBD）である潰瘍性大腸炎およびクローン病の遺伝要因を解明するために、すでに連鎖の報告のある第1染色体短腕1p36領域IBD7近傍のPADI4遺伝子多型と疾患との関連について検討しようとしたものであり、目的は妥当である。</p>			
2. 研究手法に関する評価			
<p>潰瘍性大腸炎患者114名、クローン病患者83名、年齢性別の適合した健常人対照200名のDNAサンプルを収集し遺伝解析に供した。PADI4遺伝子の3ヶ所のSNPを認識できるPCR-RFLP法を用いて各人のハプロタイプを決定した。これらのハプロタイプ頻度および遺伝子型の頻度を患者群および対照群で比較検討したもので研究手法も妥当である。</p>			
3. 解析・考察の評価			
<p>上記手法で観察・解析した結果、関節リウマチとの相関が報告されているハプロタイプ2のディプロイドが潰瘍性大腸炎で有意に増加することが示され、IBD7の本体がPADI4遺伝子である可能性が示唆された。</p>			
<p>以上のように本論文は炎症性腸疾患の病因病態解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			